

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

新型コロナウイルスは、2020年1月16日に国内で初の感染者が確認され、その後感染は国内全域に拡大し、新潟県では2月29日に感染者が初めて確認されました。当たり前の日常的行動が大きく制限され、今まで経験したことのない行動制限が求められています。

本学では、新型コロナウイルス感染症拡大の対応として、全学生(休学者除く)に対する本学独自の修学支援金(5万円)給付、教科書を自宅へ郵送(送料大学負担)、遠隔授業の導入、Wi-Fiルーターやパソコンの無償貸出、各種奨学金説明会の実施(自宅から遠隔で参加可)など、多くの取り組みを行ってきました。

現在、国内の経済は大きく落ち込み、多くのご家庭で経済状況の急変が予想されます。学びの継続を支援するために、国や本学独自の返還不要である給付型奨学金制度についてご案内します。この他に、県や民間等の給付型奨学金もあります。また、貸与型で随時申し込み可能な奨学金もありますので、お気軽に学務課までご相談ください。

なお、健康面におきまして、不安やストレスから心身の不調を引き起こす場合があります。心の落ち着きを取り戻すきっかけとして、学生相談窓口の学務課までご連絡ください。

■主な給付型奨学金制度のご案内(返済不要)

高等教育の修学支援新制度 <small>(国による授業料減免と給付奨学金制度)</small>	支援対象者となった場合、「給付奨学金」と「授業料減免」の2つの支援を同時に受けることができます。日本学生支援機構(JASSO)の貸与型(第一種・第二種)を利用中の人でも、この修学支援新制度へ申し込むことが可能です。
新潟国際情報大学の給付奨学金制度	※ 学費臨時給付奨学金 在学中に学費負担者の死亡等により経済的事情が急変し、学業の継続が困難となった学生(原則、在学中1回限り給付)で、「授業料・施設設備費当該期分の全額または半額相当額」が給付されます。20th記念奨学金とは併用できません。
※ 20th記念奨学金 <small>前期(3月申請)・後期(8月申請)各期最大7名</small>	在学中の家計急変により、学業の継続が困難な学生に対し学内審査機関により選考され(父母会と大学が共同で給付)、「授業料・施設設備費当該期分の半額相当額」が給付されます。3月と8月に保護者あてに案内が送られます。

【問合せ先】 新潟国際情報大学 学務課
 TEL: 025-239-3111 E-mail: gakumu@nuis.ac.jp

令和2年度 保護者対象学修・就職説明会開催のお知らせ

令和2年度 新潟国際情報大学保護者対象学修・就職説明会を開催します。学修・就職説明会は、保護者の皆様に本学の教育内容、就職に関する取り組み、学生の教育課程履修に関してご理解いただくための会です。

内容の詳細、申込方法等に関しましては、令和2年7月16日付で保護者様宛に案内文書をご送付しておりますので、ご確認ください。

- 開催日: 令和2年9月13日(日) 10:10~14:00 (開場・受付: 9:40から)
- 開催場所: 新潟国際情報大学 本校(みずぎ野キャンパス)
- 問合せ先: 新潟国際情報大学 学務課
 TEL: 025-239-3111
 E-mail: gakumu@nuis.ac.jp

NUIS 新潟国際情報大学 Niigata University of International and Information Studies 父母会報

第24号 令和2年8月1日発行

発行 新潟国際情報大学 父母会

事務局 〒950-2292
 新潟市西区みずぎ野3-1-1
 新潟国際情報大学内
 TEL 025-239-3111
 FAX 025-239-3690
 E-mail gakumu@nuis.ac.jp

就任の挨拶



父母会長
 田中 博幸

暑さも厳しさを増してまいりましたが、新潟国際情報大学父母会の皆様に於かれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルス感染症拡大により、日常生活の様式や価値観を大きく変えざるを得ない状況となっております。

このような時期に父母会会長として何が出来るか不安ではございますが、学生の皆さんにとって安全な状況で勉学に励むことができる環境と、抑制された生活のなかで、多くの思い出を残せるような楽しい学生生活が過ごせるように、努力してまいりたいと思っております。

会員の皆様よりご意見・ご指導を賜りながら、この難局を乗り切るために新役員一同誠心誠意努めてまいります。皆様のご協力とご理解をお願い申し上げ、新役員のご紹介と就任のご挨拶とさせていただきます。

【令和2年度役員】

- 会長 田中 博幸(4年情報文化学部) 幹事 五十嵐 智(3年経営情報学部) 監査役 田窪 順一(2年経営情報学部)
 副会長 多賀 則夫(4年国際学部) 須藤 秀明(1年国際学部) 脇坂 一郎(2年国際学部)
 石本 伊佐雄(3年国際学部) 竹田 謙(1年経営情報学部)

新潟国際情報大学データ

入試データ(令和2年4月入学)

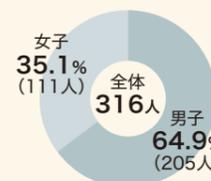
■入試情報(過去5年分)

入学年度	募集人員	志願者数	入学者数
令和2年*	250人	1,156人	316人
令和元年*	250人	1,173人	313人
平成30年*	250人	1,079人	316人
平成29年	250人	666人	332人
平成28年	250人	689人	311人

※志願者数は第2・第3志願制を含みます。

■入学者(令和2年4月入学)

■男女比



■県内・県外高校出身比

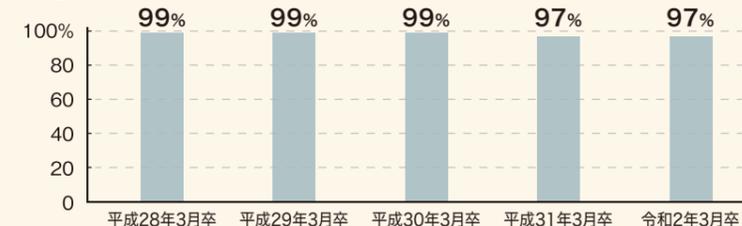


卒業生就職データ(令和2年3月卒)

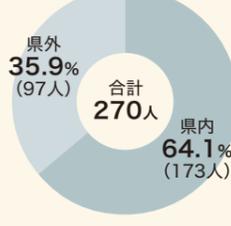
■就職先の業種(令和2年5月1日現在)



■就職率(過去5年分)



■就職先本社所在地(令和2年5月1日現在)



今年もみずき野キャンパスは300名を超える新入生を迎え、学生たちの弾んだ声や樹々の新緑が学舎を満たす中で新しい年度が始まるはずでした。しかしながら…。

このコロナ騒動下、いち早く導入したCisco Webex会議システムを利用してのオンライン遠隔授業は円滑に機能しております。もどかしさを伴いかねないこの授業方式ですが、これを自力で克服しているスマホ世代といわれる学生たちの対応力には感心すること頻ります。6月からは1年生の基礎ゼミや対面授業が不可欠の一部科目に限って、みずき野キャンパスでの講義を試行しているところ。新しい生活様式への移行も始まりつつあります。大学では学生たちに一刻も早く充実したキャンパスライフを送ってもらえるよう、感染予防対策に万全を期しながら「新しい教育研究活動」に対応して参ります。

- 野崎 茂** NOZAKI SIGERU (昭和23年8月生)
- 昭和47年 4月 日本輸出入銀行入行
海外投資研究所、ブエノスアイレス駐在員、ロンドン長期出張英国国立国際問題研究所客員研究員などの勤務を経て
 - 平成11年10月 国際協力銀行(行名変更) 資源金融部長
 - 平成14年 5月 同 大阪支店長
(この間、甲南大学大学院ビジネスコース客員講師 平成15年7月～9月)
 - 平成15年10月 同 理事
(～平成19年3月退任)
 - 平成22年 9月 公益財団法人 環日本海経済研究所理事就任(現任)
 - 平成30年 4月 新潟国際情報大学学長就任



新潟国際情報大学学長
野崎 茂

国際学部 | 国際文化学科

白井 陽一郎 教授	區 建英 教授	越智 敏夫 教授	小山田 紀子 教授	熊谷 卓 准教授	小林 伊織 講師
佐々木 寛 教授	佐藤 泰子 講師	佐藤 若菜 准教授	澤口 晋一 教授	申 銀珠 教授	鈴木 佑也 准教授
瀬戸 裕之 准教授	藤本 直生 准教授	アレクサンドル プラール 教授	堀川 祐里 講師	矢口 裕子 教授	山田 裕史 准教授
吉澤 文寿 教授	ジュリアス マルティネス 契約講師(CEP)	ダニエル アスベル 契約講師(CEP)			

経営情報学部 | 経営学科

阿部 聡 准教授	今井 裕紀 講師	内田 亨 教授	小宮山 智志 准教授	佐々木 桐子 准教授	佐々木 宏之 教授
土屋 翔 講師	藤瀬 武彦 教授	藤田 晴啓 教授	藤田 美幸 准教授	山下 功 准教授	

経営情報学部 | 情報システム学科

安藤 篤也 教授	石井 忠夫 教授	石川 洋 教授	宇田 隆幸 教授	上西園 武良 教授	河原 和好 准教授
桑原 悟 教授	小林 満男 教授	近山 英輔 教授	中田 豊久 講師	西山 茂 教授	宮北 和之 講師

令和2年度 父母会総会について

新型コロナウイルス感染拡大により、4月25日(土)に予定していましたが令和2年度父母会総会は中止となりました。資料送付により父母会総会の代替と見なして審議した結果、審議事項については全て承認されました。

令和2年度 父母会総会審議結果 保護者への送付数:1,276名

	内容	承認	否認
第1号議案	令和元年度事業及び収支決算報告	1,274	2
第2号議案	令和2年度事業計画(案)及び収支予算(案)報告	1,274	2
第3号議案	令和2年度役員(案)	1,274	2

令和元年度 事業報告

- 4月 3日(水) 入学式・父母会総会
- 5月 18日(土) 役員会 父母会役員・大学との懇談会
- 6月 15日(土) 会報発行
- 9月 12日(水) 役員会
- 10月 4日(日) 文化講演会(紅翔祭)
- 2月 7日(金) 役員会
- 3月 19日(水) 役員会
- 3月 21日(土) 卒業式・卒業祝賀会中止。学位記授与式に変更

令和元年度 決算報告

●収入の部 (単位:円)

項目	予算	決算	差異	備考
前年度繰越金	2,204,687	2,204,687	0	
会費	6,000,000	6,260,000	260,000	
雑収入	750	9,750	9,000	デジタル印刷機使用料
利息	37	32	△5	
計	8,205,474	8,474,469	268,995	

●支出の部 (単位:円)

項目	予算	決算	差異	備考
機関紙制作費	120,000	117,720	△2,280	6月発行
総会等経費	200,000	208,330	8,330	総会及び役員会費用
大学活動援助費※	3,144,682	2,106,840	△1,037,842	下記内訳表参照
文化講演会費	1,000,000	909,938	△90,062	文化講演会(植木理恵氏)
通信・印刷費	350,000	299,018	△50,982	切手、葉書、封筒等
新規事業	1,000,000	763,106	△236,894	
雑費	60,000	53,608	△6,392	振込手数料、生花等
予備費	712,042	0	△712,042	
父母会奨学生基金繰入	1,618,750	1,618,750	0	
次年度繰越額	0	2,397,159	2,397,159	
計	8,205,474	8,474,469	268,995	

※大学活動援助費内訳 (単位:円)

項目	予算	決算	差異	備考
卒業記念品	744,682	708,840	△35,842	卒業生280名分大学と折半
卒業記念祝賀会補助	600,000	0	△600,000	
資格取得支援	1,000,000	827,000	△173,000	上限3,000円
課外活動助成	800,000	571,000	△229,000	公認団体選征補助
計	3,144,682	2,106,840	△1,037,842	

●父母会奨学金基金 (単位:円)

事項	金額	累計	備考
前年度より繰越	—	9,831,204	
令和元年度分奨学金繰入	1,618,750	11,449,954	前期・後期 各7名 半額採用分
父母会奨学金支出	1,156,250	10,293,704	実績・前期5名・後期5名 半額採用
利息	90	10,293,794	

令和2年度 事業計画

- 5月 役員会
- 6月 会報発行
- 10月 4日(日) 文化講演会(紅翔祭)
- 9月 役員会
- 2月 役員会
- 3月 役員会
- 3月 19日(金) 卒業式・卒業祝賀会

令和2年度 収支予算

●収入の部 (単位:円)

項目	令和2年度予算	前年度決算からの増減	備考
前年度繰越金	2,397,159	192,472	
会費	6,000,000	△260,000	20,000×300人
雑収入	9,750	0	前年度実績より算出
利息	32	0	前年度実績より算出
計	8,406,941	△67,528	

●支出の部 (単位:円)

項目	令和2年度予算	前年度決算からの増減	備考
機関紙制作費	120,000	2,280	
総会等経費	300,000	91,670	総会及び役員会費用
大学活動援助費※	3,059,000	952,160	下記内訳表参照
文化講演会費	1,200,000	290,062	
通信・印刷費	350,000	50,982	切手、葉書、封筒等
新規事業	0	△763,106	
雑費	60,000	6,392	振込手数料、生花等
予備費	1,699,191	1,699,191	
父母会奨学生基金繰入	1,618,750	0	前期・後期 各7名 半額採用予定
次年度繰越額	0	△2,397,159	
計	8,406,941	△67,528	

※大学活動援助費内訳 (単位:円)

項目	令和2年度予算	前年度決算からの増減	備考
卒業記念品	759,000	50,160	5,060円 [本体4,950円+名入れ110円]の 300名分を大学と折半
卒業記念祝賀会補助	600,000	600,000	
資格取得支援	1,000,000	173,000	上限3,000円
課外活動助成	700,000	129,000	公認団体選征補助
計	3,059,000	952,160	

●父母会奨学金基金 (単位:円)

事項	金額	前年度決算からの増減	備考
前年度より繰越	—	10,293,794	
令和元年度分奨学金繰入	1,618,750	11,912,499	前期・後期 各7名 半額採用
父母会奨学金支出	1,618,750	10,293,749	前期・後期 各7名 半額採用
利息	90	10,293,839	

